



GEKKAN ORIMOTO

月刊 織本

6

2013年6月1日 Vol.226

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002

東京都清瀬市旭が丘 1-261

TEL 042-491-2121

URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木 由利



エゴノキ

減量の美学

理事長・院長 高木 由利



新緑の美しい季節になりました。清瀬は東京とは思えないほど緑の多い街なので、私は仕事をしながら自然を肌で感じることができるのです。幸せな毎日です。

* * *

毎月1回、土曜日の午前中に“サラリーマン外来”と名を付けて外来診療を行っています。その外来にいらっしゃる患者さんは30～50才代の男性がほとんどで、まさに日本を背負っている精鋭達とも言うべき方々です。

疾患名は、高血圧、脂質異常症、糖尿病、高尿酸血症、慢性腎臓病と様々です。まさに生活習慣病です。更にほとんどの方が体重オーバーで私の指導はひたすら“やせなさい”なのです。やせると体力が落ちると勘違いされている方が多いため、この減量計画はなかなか難しいものがあります。私の指導の後、管理栄養士が食事の摂り方や食事時間、アルコールのことなどインタビューしながら様々なアドバイスをしています。

私達の望ましい体重の目安に“標準体重”というものがあります。それは、身長(m)×身長(m)×22で計算されます。私は身長が150cmなので、 $1.5 \times 1.5 \times 22 = 49.5\text{kg}$ となります。しかし私がこの“標準体重”と称される体重を体験したのは妊娠10ヶ月

目の時だけでした。この体重になった時は、腰痛、両膝痛に悩まされる日々だったのです。出産後、減量して44kgになった時、腰痛は消えました。でも走ると左膝が痛かったので41kgまで減量し現在快調です。そして検査結果も良好とても元気になりました。今から考えると、私は毎日8.5kgのお米の袋を背負って生活していたことになるのです。

ほとんどの人は18歳頃と比べると、全身の筋肉の中に脂肪が潜り込む“霜降り筋肉”の状態になっているのです。18歳で筋肉質な青年の体脂肪率は4%位ですが、もし50歳になってその頃と同じ体重だとしたら、それは単純に太り過ぎと考えなければならないはずです。私が減量をうるさく指導するのは私の好みで減量させたいのではなく、前述した疾患群は放置すると慢性腎不全になる可能性が極めて高いからです。私達医師の間では“肥満腎症”という言葉があり、大変恐れられているのです。

私の尊敬する透析者、織本病院腎友会会長 石田健郎さんが“糖尿病や高血圧の時にしっかり先生の指導を守って真剣に生活してほしい。透析に入ってから後悔しても遅いのですよ”と、ご自分の経験から声を大にして患者さん達にメッセージを送られていることに

私は深く感動しました。この言葉の重みを世界中の太っている方々が心に受け止めてほしいと願っています

す。そして、“減量の美学”を身をもって証明して頂きたいのです。

組織目標 実現のために vol.3

『医事業務室』の 組織目標

医事業務室 主任 倉西 哲生



私は、昨年10月より織本病院医事業務室主任として働かせて頂いている倉西哲生と申します。当院に勤務する前は、国立病院で医事業務（受付や会計、診療報酬請求）、トラックの運転手等いろいろ経験してきました。年齢を重ねるにつれ、中間管理職という立場の仕事もしてきました。

織本病院の理念、「・患者様に満足して頂ける医療を実践する ・患者様と職員、双方が癒される病院にする ・互いにいたわり合う職場を創る」を実行するため、若い人達が仕事がしやすく、織本病院で働きたいと思える環境を創っていくのが自分の役割だと考えております。また、これまでの国立病院で経験し培った診療報酬の知識を皆と共有し、査定減改善に役立てていくことも自分の役割です。

更に、織本病院にとって必要な“人財”を育成することも役割だと考えております。過去に私は、「あなたは会社にとって今はまだ“人材”です。仕事に取り組む姿勢や成果によっては“人財”になれる。いい加減に日々を過ごし仕事をしていくのなら、社会や会社にとって不必要な“人在”や“人罪”になる。変化を嫌わず、真摯に取り組み“人財”になれ」と、叱咤激励されたことがあります。このことから、私自身が織本病院にとっての必要不可欠な“人財”になることが重要だと考えております。

織本病院にとっての“人財”とは、病院の理念や目標を日々少しずつでも実行していく事が出来る人だと考えます。人は誰でも常にモチベーションが高い訳ではなく、疲れている時や落ち込んでいる時もあります。しかしそのような時でも、体調や気分が左右されずに安定して仕事をこなすことが大切であり、このことが

組織を成熟させることにも繋がるのだと考えます。

そこで、今年度の医事業務室の目標を『環境整備と診療報酬の査定減の更なる改善』と設定しました。病院の顔とも言える受付・事務室を整理整頓し、気持ち良く働ける環境と、来院された患者様にも気持ち良く過ごしてもらえる環境の整備を実施して行きます。従来から実施している新規患者様のアンケートに続いて、新たなアンケートを実施するべく、現在準備中です。私達医事業務室の患者様への対応の仕方や言葉使い等を、患者様からだけでなく院内各部署の方々にもアンケートし、今後更なる他部署間との連携強化や患者様の満足度、病院・受付業務等に期待する事等を洗い出します。そして職場環境の改善や自分を含めスタッフ一人ひとりの仕事に対する改善点や目標、モチベーションに繋がるよう役立てたいと考えています。その際は、皆様からの忌憚きたんのないご意見を頂きたいと思っております。

診療報酬の査定減改善につきましては、今までも医事業務室のみでは出来ない案件は、各部署のスタッフ等とも情報を提供・共有し、医療現場サイドからの協力を仰ぎつつ、対策を講じてきましたが、今後は更に、毎月の査定減箇所、重点点検箇所等を集計、分析しスタッフと情報を共有し、対策や工夫を強化して行きます。

今年度の目標を2つ掲げましたが、全てにおいて風通しが良く、コミュニケーションがしっかり取れていれば、自然と出来る事が当たり前になると考えます。私も微力ではありますが、医事業務室に風を通し、マンネリ化することなく、いつも新鮮

な気持ちで仕事に取り組むことができ、スタッフ皆が織本病院の“人財”になれるよう、また患者様の満

足度が高まり、選ばれる病院であり続けるよう努力していきます。

～患者さんからのお便り紹介～

岩崎九二彌さんは、清瀬市特定健診を当院で受けられた時に私が担当した患者さんです。その後、私の外来で熱心に食事療法を実践。更に少しずつスリムになって若返っていらっしゃる、ステキなアーティストです。

高木 由利

私の健康実

岩崎九二彌



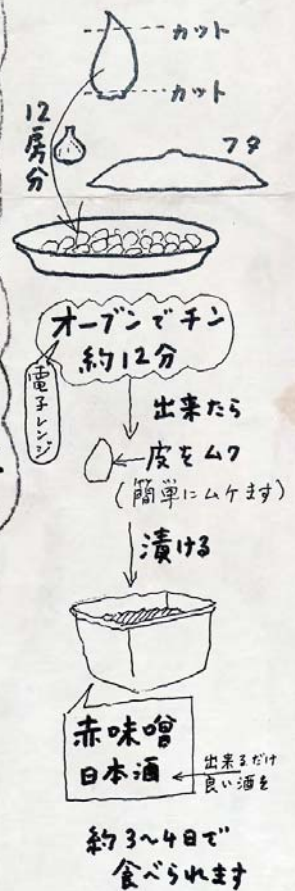
一番目は最高に素晴らしい先生(医師)との出会いです。自分の体は自分で管理しなければなりません。健康状態の診断を適確に指示して頂くことが大切です。それが最高の先生との出会いなのです。

それと「食はくすりなり」と云う言葉があるように、二番目は生のニンニク臭いのが一番の弱みですが、その臭いを消しおいしく食べられる方法を見つけましたので挿絵でお知らせします……

大蒜(ニンニク)は癌細胞の増殖を阻止する強硬な細胞をつくる手助けをします。そうです。強力な体力と癌防止の最大の食べ物です。最高の若返りの強社食品でもあります。

私は70才から毎日約5粒(一房分)を食べて、今だ好きな酒とカラオケと絵画を楽しんでいる78才の男です。これからはのんびり明るく元気に余生を暮らします。

大蒜の味噌漬



九.

乳がん検診

受けていますか？



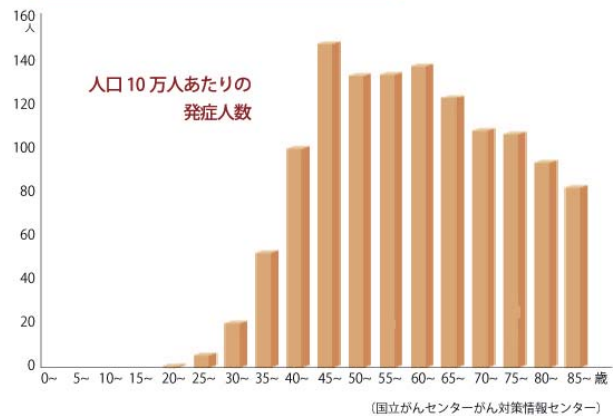
乳がんは早期発見で、ほとんどの方が治る病気です。

乳がんは、しこりの小さいうちに発見して適切な治療を行えば、90%以上が治る病気です。そのため、定期的な検診によって、しこりが小さく、リンパ節や他の臓器への転移がないうちに見つけることが大切なのです。

乳がんは30才代から増えはじめ、40才代後半で最も発症率が高くなります。そのため、30才からは定期的に乳がん検診を受けましょう。

しこりなど気になる症状や乳房の違和感を覚えたら、検診を待たずに乳腺外来を受診してください。

年齢別の乳がん発症率（2004年集計）



乳腺外来

【診療日】

第2・4土曜日（午前）

【担当医師】

乳腺外科：北野 敦子

当院の乳腺外来は、女性医師と女性スタッフによる診療を行っています。

また、マンモグラフィー検査も女性の放射線技師が担当しておりますので、安心して受診してください。

第145回 腎疾患ゼミナール

『謙虚な気持ちで腎不全と向き合おう⑤』

腎臓内科：高木由利

栄養科からのフンポイントアドバイス

『でんぷん米を使って
ドライカレーを作ろう!!』

管理栄養士：小澤 牧子



2013年6月13日（木）
午後1:00～2:00
オリモトホール（織本病院4F）
参加費無料

レシピ・
試食付き



6月の糖尿病教室

メインテーマ『糖尿病をもっと知ろう!!』

第29回 6月4日（火）

講師：看護師・薬剤師

第30回 6月18日（火）

講師：管理栄養士・理学療法士・臨床検査技師

会場：第1会議室（織本病院4F）
時間：午後1:00～2:00（開場12:45）
参加費：無料
予約：不要（直接会場へお越しください）